

今回は教頭先生から、高体連に向けて生徒達へのメッセージを紹介します。
町田教頭先生は、中学時代からソフトテニスの選手として活躍されていました。

高体連に寄せて

教頭 町田 修

来週からの高体連函館地区予選を迎えるにあたり一言メッセージを送ります。

今から40年近く前、私も高校3年生でして、テニス部に所属し日々朝練から放課後遅くまで練習して全道大会を目指していました。周囲からは優勝候補と言われていたのに春季大会ではまさかの予選敗退、残るは高体連のみでいよいよ試合当日を迎えました。

予選リーグで西高と対戦し最初のチームが負け、私たちのチームもゲームカウント1-3、セットカウントも1-3のマッチポイント（つまりあと1ポイント相手が点数を取るか、こちらがミスをするかで負けてしまう）になり絶体絶命のピンチだったのですが、不思議と負ける気がせず、かえって相手の方が勝ちを意識してミスを重ねたのでそのセットを取ってゲームカウント2-3になりました。それで流れがこちらに傾きその後3-3、4-3と逆転勝ちを収め予選リーグを突破、決勝戦の相手は函工だったのですが2-1と破り、見事優勝することができました。

その日のことは40年近くたった今でも鮮明に覚えていて、千代台のテニスコートから自宅まで嬉しくて嬉しくてフワフワした気分で帰ったものでした。このような気持ちをぜひ、遺愛の生徒にも経験してもらいたいと思います。

決して最後まであきらめず、最後の一分、最後の一本、最後の一球まで全力で戦って下さい。

皆さんの健闘をお祈りしています。